



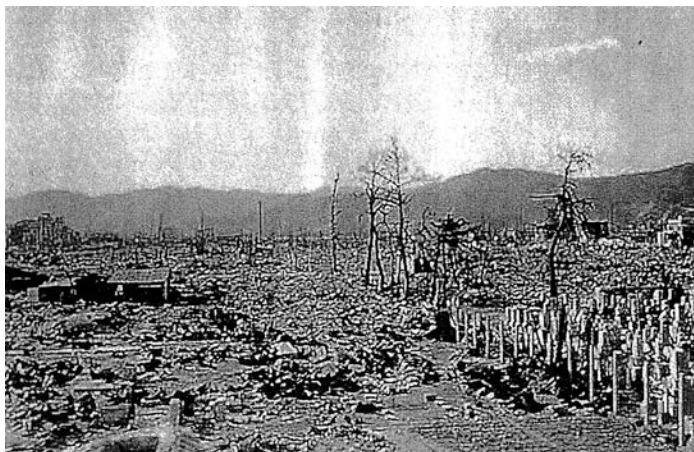
焼け残った岡山駅

(駅舎からは焼け野原となった志賀伊賀遠くまで見渡せたという)

原爆投下後の広島



京橋上でトラックに乗った米兵と廃墟の広島(1945年9月下旬)



焼け野原の墓石とバラック(1945年9月下旬)

東八王寺町歴代町内会長

代	就任年月	氏名
1	昭和 31 年 4 月	山脇 弘
2	昭和 42 年 4 月	市 茂雄
3	昭和 46 年 4 月	三宅 保治
4	昭和 50 年 4 月	井戸 玉喜
5	昭和 52 年 4 月	杉原 秀治
6	昭和 55 年 4 月	片山 角一
7	昭和 57 年 4 月	池田作之進
8	昭和 61 年 4 月	松原 貞志
9	昭和 62 年 4 月	松浦 清
10	昭和 63 年 4 月	堀 幸三
11	平成 1 年 4 月	石橋 昭男
12	平成 2 年 4 月	吉田 敬治
13	平成 3 年 4 月	宇野 省三
14	平成 4 年 4 月	篠田 政春
15	平成 5 年 4 月	守屋 彰
16	平成 6 年 4 月	山崎 候男
17	平成 7 年 4 月	綱島 弘市
18	平成 8 年 4 月	平松 勤
19	平成 9 年 4 月	久保 朝孝
20	平成 10 年 4 月	鍋谷 昇
21	平成 11 年 4 月	松浦 清
22	平成 12 年 4 月	山元 敦美
23	平成 13 年 4 月	畠山 勝利
24	平成 14 年 4 月	原 知弘

附録年表（主たるもののみ記載）

西暦	年号 月	記事
1516	永正 13 年	連島の三宅国秀琉球攻略のため兵船をひきいて薩摩の坊の津に至ったが島津忠隆に討たれた
1579	天正 7 年	宇喜多直家、毛利氏から離反、羽柴秀吉の斡旋で織田信長に従う、毛利軍児島に進攻す
1582	天正 10 年	羽柴秀吉、備前備中で毛利軍と対戦、高松城の水攻め、本能寺の変あり、羽柴秀吉、毛利軍と和睦し宇喜多氏が高梁川以東を領有す
1583	天正 11 年	福島、大島、平田開発 宇喜多秀家の老臣岡利隆、千原勝則に命じ酒津から南に向い築堤す、また児島湾からの上げ潮に対する潮止め堤防(宇喜多堤－向山～早島に至る)を築かせた、天正開墾の始まり
1585	天正 13 年	日吉庄、東酒津開発
1600	慶長 5 年	関ヶ原の戦い、関ヶ原戦後、備中毛利領は徳川領となる、小堀正次備中松山の代官となり、倉敷は松山領となる
1603	慶長 8 年	徳川幕府開かる
	慶長 9 年	松山代官小堀正次没し、長男政一(遠州) 嗣ぐ
1614	慶長 19 年	大阪冬の陣、小堀政一家康の命により備中大阪方諸士の没収知行米ならびに代官領蔵入米 13 万 1000 石を兵糧米として倉敷より海上輸送す
1614	元和元年	中島開墾、東高梁川左岸延長工事開始
1618	元和 4 年	八王寺、倉敷新田、笹沖、福井、四十瀬、伯樂市、渋江、水江、加須山が開発せらる
1680	延宝 9 年	倉敷村戸数 375 戸、人口 5392 人 この年、春飢饉により村内飢人 541 人
1721	享保 6 年	酒津一の口樋、東光寺樋全潰、四十瀬堤防決潰し倉敷村一帯大洪水となる
1735	享保 20 年	高梁川福井村堤防決潰、倉敷全域浸水、稲作の虫害重なる
1738	天文 3 年	四十瀬堤防決潰、倉敷地方浸水 10 日におよぶ

1746	延享 3 年	倉敷代官所建設
1784	天明 4 年	備中代官は、倉敷だけ管轄となる
1835	天保 9 年	倉敷稲荷町の大火事、類焼 50 軒余
1850	嘉永 3 年	大洪水、安江、四十瀬堤防決潰、倉敷、下帯江、早島、茶屋町、興除新田まで浸水
1864	元治元年	倉敷下津井屋騒動、大橋敬之助(立石孫一郎)、和栗吉次郎(井坂恭平)などが、前神川畔下津井屋を襲撃す
1866	慶応 2 年 4 月	奇兵隊立石孫一郎、倉敷代官所を襲撃、死者 9 名、負傷数名、続いて浅尾藩陣屋を襲撃後、高瀬舟で連島に下り、此处で岡山藩兵に攻撃され分散す 米穀大凶作のため細民蜂起し、倉敷にて 10 余軒を襲撃す
1868	慶応 4 年	鳥羽伏見の戦いに天城の池田氏官軍として参加、倉敷代官所を没収、川辺川(高梁川)以東は備前藩、以西は安芸藩の鎮撫となる 同年 9 月、明治と改元せらる
1869	明治 2 年	版籍奉還、池田茂政岡山藩知事となる
	明治 2 年 7 月	四十瀬堤防決潰
1870	明治 3 年	池田政禮、生坂藩知事となる
1871	明治 4 年	倉敷県、福山県を廃し、深津県と改称
1872	明治 5 年	深津県を廃し、小田県と改称
1873	明治 6 年 7 月	明文館新寺院(西方寺)創立(萬寿尋常小学校の前身)
1875	明治 8 年	小田県廃せられ岡山県となる
1879	明治 12 年	学制を廃し教育令を制定、教育大旨が示される 山陽新報(現山陽新聞)創刊 この夏、コレラ流行、劇烈を極む
1880	明治 13 年	教育令改正、就学義務 3 年となる 高梁川大洪水あり
1884	明治 17 年 8 月	夜、暴風雨、大洪水起こり福田、乙島、勇崎、各村大被害、県下死者行方不明者 655 人、家屋流失 2000 戸以上、このうち福田村の死者 8 割を超す、福田村に千人塚建立

1889	明治 22 年 6 月	濱、小字位、大島、福島、八王寺、川入、大内、日吉、平田の各村が合併して萬寿村となる
1890	明治 23 年 4 月	富久の日吉小学校、萬壽小学校と合して萬壽尋常小学校と改称
1891	明治 24 年 4 月	山陽鉄道(元国鉄山陽線)笠岡まで開通す
1907	明治 40 年 4 月	萬壽尋常小学校は萬壽尋常高等小学校となる
1910	明治 43 年 11 月	岡山県下で陸軍大演習が行われ明治天皇倉敷駅下車、菅生御野立所に行幸す
1911	明治 44 年 4 月	高梁川改修工事起工式、東流河畔にて行われる
1918	大正 7 年 8 月	米価暴騰のため富山で起きた米騒動が岡山、倉敷、玉島に波及す
1925	大正 14 年 4 月	高梁川改修工事完成す
1927	昭和 2 年 4 月	萬寿、大高の 2 村が倉敷町に合併す
1928	昭和 3 年 4 月	倉敷町が市制施行、倉敷市となる
1940	昭和 15 年 12 月	中洲町が町制施行、中洲町となる
1941	昭和 16 年 12 月	大東亜戦争、開戦
1944	昭和 19 年 1 月	中洲町が倉敷市の合併
	昭和 19 年 4 月	学区が改制され、東八王寺地区は萬寿学区から中洲学区に編入さる 三社宮を三社神社と改称し指定村社に列格せらる
1945	昭和 20 年 4 月	B29 倉敷に來襲、帯江付近 12 ヶ所被爆
1945	昭和 20 年 6 月	6 月 22 日、午前 8 時 30 分頃、B29 爆撃機が水島の三菱水島航空機工場(現三菱自動車)を爆撃、壊滅状態となる。
		6 月 29 日未明、岡山が B29 爆撃機に空襲され、10 万発の焼夷弾が投下され甚大な被害を受けた。 死者 1725 人 重症 897 人 家屋焼失 約 25,200 戸 被災者 約 104,000 人
1949	昭和 20 年 8 月	8 月 6 日午前 8 時 15 分頃、広島原子爆弾が投下された。 被爆者 43 万人(軍関係者も含む) 死者 17 万人(即死者含む) 正確には判らない 以上、昭和 47 年 12 月調べ
		8 月 9 日、午前 11 時 2 分頃、長崎浦上上空 500m から原子爆弾を投下され、10 数万人の死傷者がでた。 死亡者 約 74,000 人 負傷者 約 77,000 人 被災者 約 121,000 人

		8月15日、終戦
1949	昭和24年4月	倉敷市営球場完成
1957	昭和32年8月	八王寺中組山脇弘氏、町内先住者と協力して中洲公民館八王寺支館を組織し、この地を東八王寺と命名す
1962	昭和37年12月	東八王寺の東地区に勤労者住宅団地が造成され35戸が入居、町の戸数は一挙に80数戸に増加した
1967	昭和42年2月	倉敷、児島、玉島の3市が合併す
1968	昭和43年2月	東八王寺公民館を今の地に移転、新設す
1972	昭和47年4月	中洲公民館八王寺支館を八王寺町内会と改称す
1974	昭和49年4月	東八王寺公民館を今の地に移転、新設す。祇園社の南地区が宅地化され、中組3班が結成された。
1975	昭和50年1月	東八王寺老人クラブが結成された。初代会長、三宅保治氏
1979	昭和54年4月	北組共同墓地北側地区が宅地化され北組4班が結成された。
1981	昭和56年11月	祇園社および三社宮の拝殿の屋根瓦葺き替え、また壁板修理等の大造作を行った。
1984	昭和59年4月	倉敷西公民館開館
1989	昭和64年1月	昭和天皇崩御さる。元号を平成と改められる。
1989	平成元年10月	三田～水島海岸通り千の新設工事の内、東八王寺地内の工事が完成した。
1991	平成3年4月	中組4班が結成された。
1993	平成5年4月	八王寺公園が完成、共用が開始された。眼mm席1,411㎡
1995	平成7年11月	東八王寺公民館の改築工事が町内一般、団体、会社、家主等諸氏の寄付金と倉敷市女助成を受け且つ多くの人の尽力により完成した。
1997	平成9年7月	倉敷チボリ公園開園
1997	平成9年11月	東八王寺の周辺地域の下水道本管敷設工事が概ね完了した。これにより町内の環境が著しく改善された。
1998	平成10年4月	イオン倉敷ショッピングセンターが華々しく開業した。
1999	平成11年9月	中洲公民館八王寺支館を東八王寺町内会と改称す
2001	平成13年9月	倉敷、児島、玉島の3市が合併す

引用書(参考文献)

倉敷市史
備中誌
都窪郡誌
倉子城史談

倉敷浅尾騒動記
備中兵乱 常山合戦
中洲小学校百周年記念誌
倉敷市歴史年表

中洲町誌
岡山県の歴史
写真物語(あの日長崎と広島で)

水島の戦災
広島県の歴史
山陽新聞

昭和 61 年 8 月 20 日 記
平成 14 年 11 月 20 日 増補改訂

倉敷市八王寺町 170-1
池田作之進